

TOPICS

めざすべき地域福祉の将来像

「長浜市地域福祉計画」の策定を進めています

「市民福祉フォーラム」を開催！ 12/18(日)浅井文化ホールで

地域社会を取り巻く状況は、少子・高齢化、核家族化、ライフスタイルの多様化などの社会環境の変化を背景に、かつての地域社会が当たり前にならなくなった。住民相互の日常的なつながりや絆が希薄化するなど、大きく変わろうとしています。

このような中、今年3月に発生した東日本大震災では、日常的な人々のつながりや支えあいが必要であることを、あらためて教えられました。

本市では近年2度の合併を経て、新市の一体感の醸成とともに地域の豊かな特性を活かしたまちづくりが求められています。

福祉の分野においても、地域福祉のあり方を明確に示し、市民と地域関係団体、行政等が一体となってめざすべき地域福祉の将来像を共有していくことが必要です。

こうしたことから、福祉分野に共通する地域福祉の総合的な推進計画として、長浜市地域福祉計画の策定（平成24年度）を進めています。

計画の策定にあたり、広く市民の皆さんの意見を反映するために、市民アンケート調査、ワークショップ、グループインタビューを実施しました。

1. 市民アンケート調査

この調査は、現在の市民の生活実態や福祉に関する意識等を把握するとともに、今後取り組むべき方向性を定めるための基礎資料とするために実施しました。

- 調査時期：平成23年8月
- 配布数：3,000件
- 回収数：1,307件
- 回収率：43.6%

2. ワークショップ、グループインタビューの開催

地域福祉に関わりの深い団体の代表者に、地域ごと（長浜・東浅井・伊香地域）またグループごと（高齢者・児童・しょうがい者福祉）に集まっていたなぎ、身近な地域における福祉の問題点や解決のための方策について、意見をうかがいました。

ワークショップ

長浜地域



【日時】 10月4日(火) 9時30分～11時30分
【会場】 市役所東別館6階 6-C会議室

東浅井地域



【日時】 10月5日(水) 9時30分～11時30分
【会場】 市社協虎姫支所会議室

伊香地域



【日時】 10月3日(月) 9時30分～11時30分
【会場】 市社協木之本支所会議室

「市民福祉フォーラム」第2回長浜市社会福祉大会

市と市社会福祉協議会は、地域の福祉関係者をはじめ市民の皆さんに、地域福祉計画の策定と地域福祉の推進についての理解と交流を深めていただくために、「市民福祉フォーラム」第2回長浜市社会福祉大会を開催します。

【日時】 12月18日(日)9時から
【会場】 浅井文化ホール
【内容】

- ◆第2回長浜市社会福祉大会
- ・社会福祉功績者表彰式
- ・福祉作文表彰・発表
- ◆市民福祉フォーラム
- 「住み慣れたまちで誰もが安心して暮らせる地域づくり」
- ・地域福祉計画の策定について
- ・市民アンケート、ワークショップ、グループインタビューの結果から
- ・地域での取組事例の紹介
- ・地域福祉の将来像について
- ◆コーディネーター
- 長浜市地域福祉計画策定委員会委員長 大橋松行氏（滋賀県立大学教授）
- ◆パネラー
- 長浜市地域福祉計画策定委員会委員 川村美津子氏、同委員 山中由美子氏

グループインタビュー

高齢者福祉関係グループ



【日時】 10月3日(月) 13時30分～15時30分
【会場】 市社協本所2階 会議室

児童福祉関係グループ



【日時】 9月29日(木) 13時30分～15時30分
【会場】 市役所東別館6階 6-C会議室

しょうがい者福祉関係グループ



【日時】 9月28日(水) 10時～12時
【会場】 市役所東別館6階 6-C会議室

地域福祉における課題

ここでは、市民アンケート調査、ワークショップ等の意見の中から、地域福祉における主な課題について紹介します。

- **地域特性に応じた住民自治**
 - 気象条件、過疎化・高齢化といった人口動向など地域ごとに特性があり、それぞれの特性と課題にきめ細かく対応できる住民主体のまちづくりが必要。
 - **増える要援護者への対応**
 - 高齢化等が進む中、要援護者は確実に増えるとともに、ニーズが複雑多様化している。
 - **地域コミュニティの構築**
 - 高齢化・過疎化による地域コミュニティの衰退への対応が必要となる。
 - 地域コミュニティの基盤となる自治会の弱体化への対応が必要。（役員のみ手不足等）
 - 転入者との交流や意思疎通が十分に図れていない面があり、声かけや誘いが必要。
 - **参加と交流の促進、絆づくり**
 - 世代間、新旧住民の交流促進。
 - 学校や地域での、しょうがい児者、外国人等を含む交流促進。
 - しょうがいや認知症等に対する理解が求められている。
 - **支えあい活動に参加しやすい環境づくり**
 - 地域福祉に対する市民の意識の低下や新たに活動に参加する人の減少等、既存の活動団体の弱体化への対応が必要。
 - 地域活動に参加したくなる工夫が必要とされている。

地域福祉の担い手の育成

- 地域活動を支えるリーダーやボランティアの育成が必要。
- **情報の提供と共有化**
 - 各種の福祉サービスが展開されているが、必要な人に情報が十分伝わっていない。
 - 関係者間においても福祉に関する情報の共有が不十分で、効果的な活動ができていない。
 - **支援を必要とする人の把握と個々のニーズに即した対応**
 - 表にでてこない要援護者の把握が難しい。
 - 家族の状況、しょうがいの状況、地域特性等に応じたきめ細かな支援が必要である。
 - 要援護者に対する防災・避難支援体制づくりが必要。

地域福祉を進めるための「ネットワーク」づくり

- 複雑多様化する福祉問題に柔軟に対応できる体制が求められている。
- 福祉を支える各種団体等の横のつながりづくりが必要。
- 地域福祉の推進・コーディネート機能を担う社会福祉協議会の役割は重要である。
- 市民アンケート、ワークショップ等の結果や計画の策定経過等は、次のHPをご覧ください。
<http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/6,0,23,403.html>

関連出展等

- ・ ふくしの相談コーナー（ボランティア・地域福祉活動、介護相談等）
- ・ パネル展示（ボランティア団体・地区社協活動、福祉作文、被災地支援活動）
- ・ しょうがい者支援施設による作品・商品販売コーナー（クッキー、パン、雑貨など）

同日開催事業

- ・ 長浜市ボランティア交流会 13時～ 大ホール等
- ・ しょうがい当事者団体の集い 13時45分～ 浅井支所
- ・ みんなのアート「KOHOKUアール・ブリュット展」小ホール



TOPICS